

でんせんせいのうかしん

## 伝染性膿痂疹(とびひ)

家を出る前に、健康観察を充分にしてから、登校させてください。

すり傷や虫さされ、あせも、湿疹などに黄色ブドウ球菌などの化膿菌が入りこんで水ぶくれができます。これをかきこわした手で他の場所をかくと、そこにまた水ぶくれが「とびひ」します。夏に多い病気です。

### 潜伏期間

2～10日。長期の場合もあります。

### 感染経路

接触感染。痂皮にも感染性が残っています。

### 治療

病院へ行きます。抗生剤を飲みます。

指示されたとおり、最後まで飲むことが大切です。

抗生剤の入った塗り薬を塗ります。

### 予防法

皮膚を清潔に保つことが大切です。集団生活の場では感染予防のため病巣を有効な方法で覆うなどの注意が必要です。

### 出席停止期間

病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまでです。